

IGF ワークショップ提案チュートリアル



Internet Society
Japan Chapter

2023年4月27日

Internet Society 日本支部 (ISOC-JP)

小林茉莉子

IGFの特徴

- 誰でも(学生でも！)ワークショップ提案を書いて提出することができる
- 選定プロセスを通った提案は、IGFの場でセッションを開催することができる
- グローバルな情報社会に向けて、アジアや日本からメッセージを発信するチャンス！



IGFのワークショップとは

大前提

- インターネットに関して自由なテーマを扱えるが、その年のメインテーマ、サブテーマやSDGsと関連づける必要はある
- 英語で執筆、開催する

今年のワークショップ提案募集期間

- 5月19日 まで現在募集中！（19 May 2023, 23:59 UTC）
- <https://www.intgovforum.org/en/content/igf-2023-call-for-workshop-proposals>

IGF2023のテーマ

メインテーマ

- The Internet We Want - Empowering All People

サブテーマ

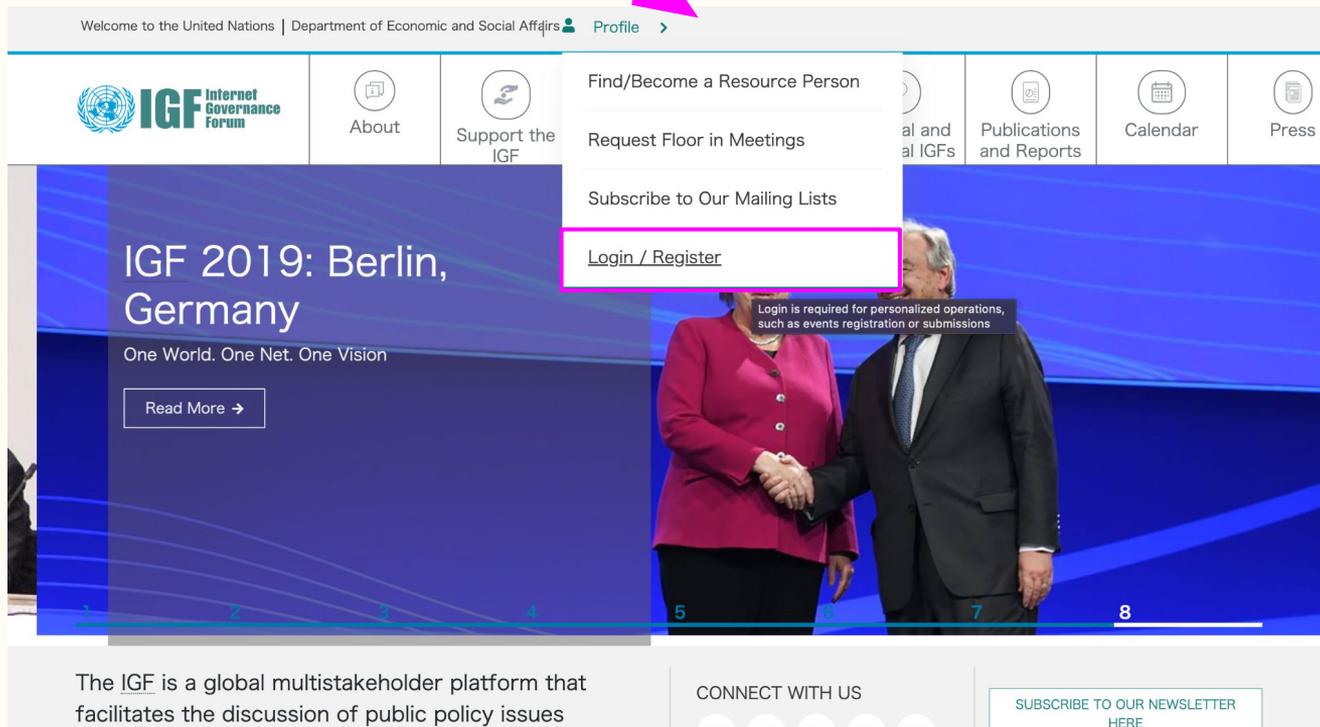
- AI & Emerging Technologies
- Avoiding Internet Fragmentation
- Cybersecurity, Cybercrime & Online Safety
- Data Governance & Trust
- Digital Divides & Inclusion
- Global Digital Governance & Cooperation
- Human Rights & Freedoms
- Sustainability & Environment

IGFのワークショップ評価指標

選考時評価される主な観点	おさえておくべきこと
扱うテーマ	<ul style="list-style-type: none">・インターネットガバナンスとの関連性・IGF2023の8つのサブテーマのうちのいずれかとの整合性
内容	<ul style="list-style-type: none">・内容の全体的なクオリティ・8つのサブテーマのいずれかに明確に焦点を当てているか
Policy Question	<ul style="list-style-type: none">・タイムリーかつ興味深く、関連性のある政策に関する質問を3つまで提出する必要あり・それらの質問が提案されたトピックに密接に関連し、成果につながるかどうか
参加者のエンゲージメント及びハイブリッド開催の戦略	<ul style="list-style-type: none">・参加者との双方向の対話を促進するための戦略があるか(新しい・創造的アプローチを含むとなお良い)・WSをハイブリッド(リモート・オンサイト)で開催することを考慮しているか(例:リモート参加者が不利にならないよう発言の機会をつくる)
ダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none">・主催者や登壇者のリストを検討する際に、経験、性別、地域、ステークホルダーによる視点の多様性、若者、障害者、その他の少数者及び社会から疎外されたグループからの参加者を含めるよう配慮することが強く推奨される

WS提案を出そうかなと少しでも思ったら最初にするこ

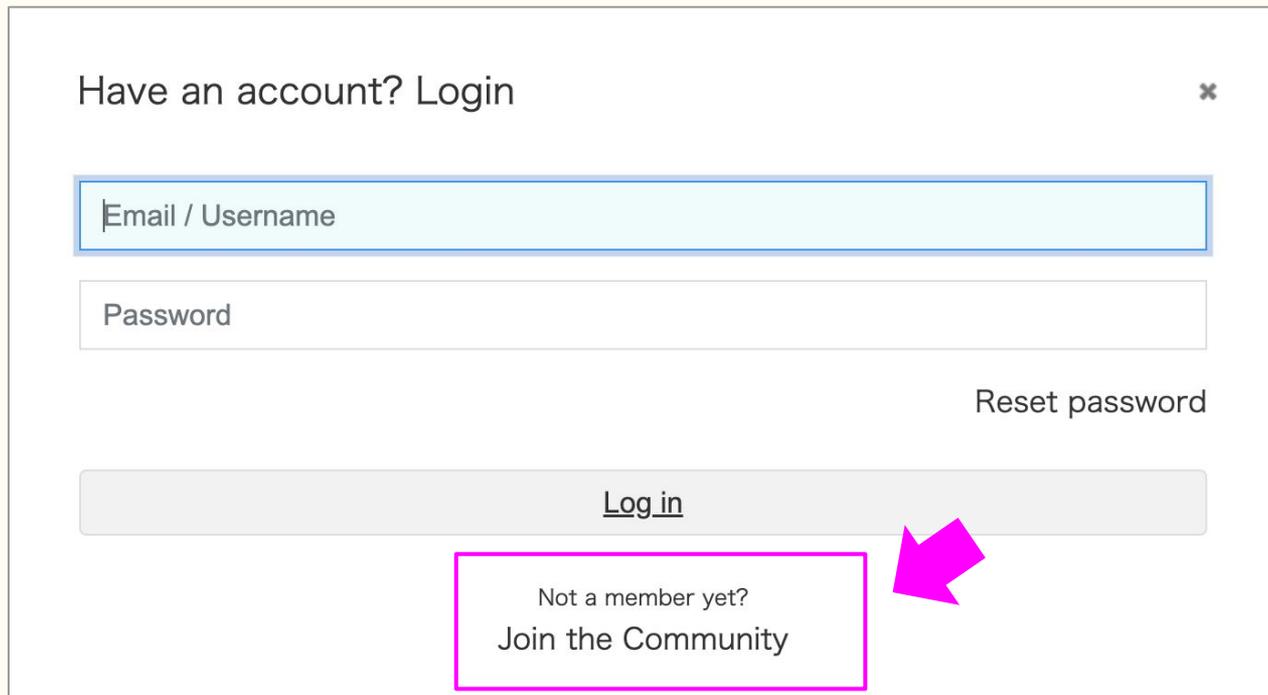
- IGFにアカウントを作成する



The screenshot shows the IGF 2019 website. At the top, there is a navigation bar with the UN logo and the text 'Welcome to the United Nations | Department of Economic and Social Affairs'. Below this is a header with the IGF logo and several menu items: 'About', 'Support the IGF', 'Find/Become a Resource Person', 'Request Floor in Meetings', 'Subscribe to Our Mailing Lists', and 'Login / Register'. The 'Login / Register' link is highlighted with a pink box. A pink arrow points to the 'Profile' link in the top right corner. The main content area features a large blue banner for 'IGF 2019: Berlin, Germany' with the tagline 'One World. One Net. One Vision' and a 'Read More' button. Below the banner is a photo of two people shaking hands. At the bottom, there is a footer with the text 'The IGF is a global multistakeholder platform that facilitates the discussion of public policy issues' and a 'CONNECT WITH US' section with social media icons. A 'SUBSCRIBE TO OUR NEWSLETTER HERE' button is also visible.

WS提案を出そうかなと少しでも思ったら最初のこと

- IGFにアカウントを作成する



Have an account? Login ×

Email / Username

Password

Reset password

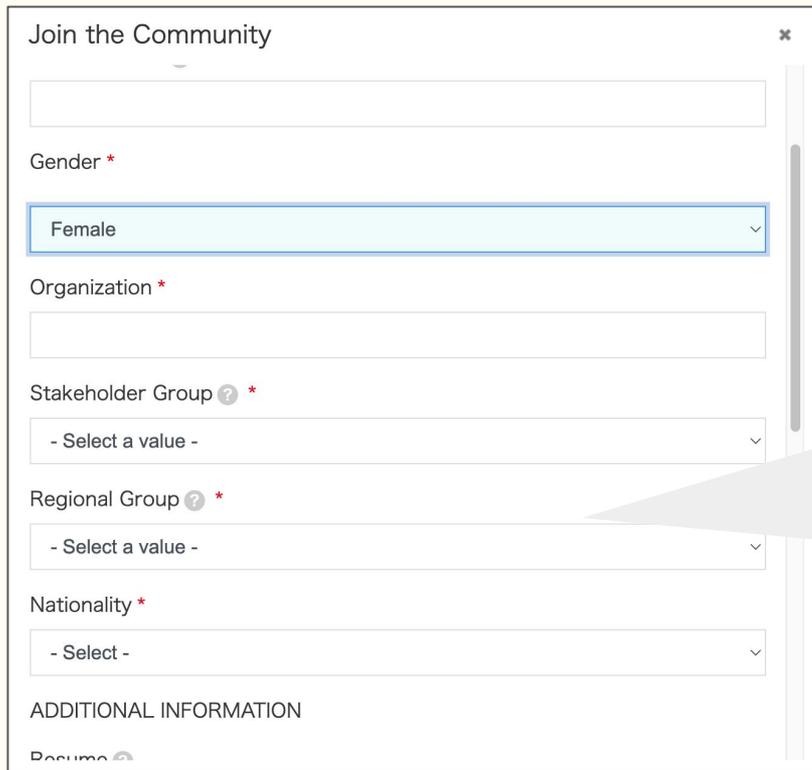
[Log in](#)

Not a member yet?
[Join the Community](#)

A pink arrow points to the 'Join the Community' link, which is enclosed in a pink rectangular box.

WS提案を出そうかなと少しでも思ったら最初にするこ

フォームを埋める



Join the Community

Gender *

Female

Organization *

Stakeholder Group ? *

- Select a value -

Regional Group ? *

- Select a value -

Nationality *

- Select -

ADDITIONAL INFORMATION

Resume

- ステークホルダーは {政府・政府間組織・市民社会・技術コミュニティ・民間企業} から選ぶ
- 地域や国籍は日本人なら Asia-Pacific Group/Japanese で登録

政府間機関: WHO、OECD、ITU、WTO、欧州連合など

おさえておくべきこと

タイトル

どのサブテーマ・SDGsトピックと関連するか

内容: 社会/分野の背景・課題・今ステークホルダー間で議論しなければならない論点

WSに関連するPolicy Questionを考える

WSの形式

WSを開催した後の展望: このWSを開催した後誰がどう嬉しいか

誰に登壇してもらうか、一緒に企画・開催したい人や組織はいるか

Policy Questionの考え方

How...? What...?で考える

- 気候変動、生物多様性、自然保護、水不足など、サステナビリティの課題に取り組む上で、データやAIはどんな役割を果たすことができるのか？¹
- 技術開発のスピードが早いAIアプリケーションにおいて、オープンイノベーションを担保しながら、法・倫理・社会的要求に応えていくためにどのような枠組みが必要か？
- 生成AIが一般市民の創造的活動に活用される時代において、既存のクリエイターや作品の保護に必要な枠組みは何か？

* 1: workshopのe-application form内に記載の例を参考

WSの形式

形式	特徴
Break-out Group Discussion	<ul style="list-style-type: none">・90 or 60 mins・導入や総括(+Next Step) は全体で、他はグループに分かれて議論
Roundtable	<ul style="list-style-type: none">・90 or 60 mins・モデレータやメインの登壇者がいて討論。参加者も討論に参加できる。・いかに一般参加者が討論に参加しやすい環境にするか
Debate	<ul style="list-style-type: none">・90 or 60 mins・対立する二つの論点を比較及び提示し、議論・2つの立場の登壇者またはチームが必要・議論の結果を審査する枠組みが必要
Birds of Feather (BoF)	<ul style="list-style-type: none">・90, 60 or 30 mins・共通の関心を持った人で集まり議論
Tutorial	<ul style="list-style-type: none">・30mins・個人あるいは団体が特定のプロジェクトについて提案・報告、または協働を呼びかけることが可能・議論というよりは資料を用いたプレゼンテーションがメイン
Panel	<ul style="list-style-type: none">・90 or 60 mins・所謂パネルディスカッション(ただIGFの場合はインタラクティブに設計する必要あり)・参加者の議論への参加を促すために、登壇者の数は少数かつオープンディスカッションの時間を十分にとるのが好ましい
Other	<ul style="list-style-type: none">・既存の形式にないものも提案することが可能(要定義)

おさえておくべきこと	IGF2018 WS#324の例
タイトル	“The Open, Free Internet” is for EVERY stakeholder
どのサブテーマ・SDGsトピックと関連するか	Subtheme : Evolution of Internet Governance SDGs : 全部(←今思えば雑)
内容:社会/分野の背景・課題・今ステークホルダー間で議論しなければならない論点	背景:各国におけるインターネットシャットダウン、フィルタリングを始めとする規制やネット中立性等について 課題:これらの議論は対立構造を生む傾向があり、具体的な解決策の提示につながりにくい 目的:オープンで自由なインターネットが経済・市民社会・教育に与える良い影響を議論・提示することで、関係者間の対話や具体的な解決策を促す
WSIに関連するPolicy Questionを考える	インターネット上の自由な情報の流通が各ステークホルダーへどのような良い影響・利益があるか
WSの形式	Other : Interactive Expert Session
WSを開催した後の展望	各利害関係者が持つ「オープンなインターネットの利点」をまとめ、それらを政府や企業の幹部にアピールする方法を検討し、検閲、インターネットの遮断、または規制に関連する実際の政策に反映させる。また、WSの参加者らが自身のローカルコミュニティへ知見を持ち帰り、彼らの地域社会で議論が継続されることも期待する。
誰に登壇してもらうか、一緒に企画・開催したい人や組織はいるか	各国・地域の企業、国際非営利組織、国際機関の関係者(政府の登壇者がいなかったので、参加者に政府の関係者に来てもらうよう呼びかけを行うとした。また若者という観点では Youth@IGF programmeに参加を促すとした。) 具体的には、ドイツの ISP、USの NGO、欧州委員会、ユネスコ、ISOCウガンダの関係者ら

その他気をつけること

- 一人あたり3提案まで主催者として提出可能
- 登壇者の数は5人以下が推奨
 - ・ ただし6人以上したからと言って選考に落ちるわけではない。IGF2022でも登壇者10人のラウンドテーブルもあった
- 提案書上の登壇者は少なくとも2人は現地参加できる必要がある
- 主催者・登壇者としてリストに載せる人は、IGFのアカウントを登録する必要がある(提案書の中ではアカウント登録されたメールアドレスを明示すること！)
- 現地参加の登録締め切りが早いので、余裕を持って登録しておく(WS提出後)

登壇してくれることになった人には、余裕を持ってIGFのアカウント登録をお願いしておこう！

ワークショップ(WS)企画・開催のスケジュール

後から「やっぱり行けなくなった」ということはあるのでその場合は代替の登壇者を探す(ここで変える分にはOK)

5月 > 7月上旬 > 7月下旬頃? > 8~9月 > 10月中旬

・提案書執筆
・登壇者調整
→提案書提出

・IGF MAGにて選考

・採択通知
・改めて登壇者へ報告&意思確認

・登壇者再調整 (if needs)
・IGF事務局によるセッション開催者向け講習 (リモートツールの使い方など)
・各登壇者との事前調整

・WS開催
・開催後レポート登録 (即時)

各登壇者と15-20分程度、当日話してほしい内容を伝えた

セッション開催後2時間以内に簡単なサマリー (key takeawaysとcall to actionの数行程度)を記入、その後セッションレポートを2週間以内に提出

このあたりの詳細は過去の登壇資料を参考に:

<https://japanigf.jp/application/files/6115/5195/5086/6-nakajima-expectation.pdf>

WS提案を実際にトライしてみても...

背景の内容の練り

- 他のWS提案者と被らないトピックや視点が◎
- 文章は簡潔、かつある程度の分量はあった方が◎

登壇者の調整(一番重要！)

- ステークホルダー、国・地域、ジェンダーのバランスを加味
- 国内外の知り合いに人づてで紹介してもらう
 - ISOC、IGF MAGの日本人ボートメンバーや委員の助けを借りる
- すぐに登壇の可否の返事が得られない場合が多いので、余裕を持って声かけを(最悪、まずは名前だけ載せさせてくれ、後で詳細調整しますでも)
- もし登壇を断られた場合でも「代わりに誰かおすすめの人を紹介してください」と打診する。粘り強く！

さいごに

- まずはWS提案にチャレンジしてみしてほしい
- その年のテーマとの相性や選考するMAGメンバーにより、通ることもあれば落ちることもある
 - 自分も2018年に1本、2019年に2本
 - 2018年は通ったが2019年は落ちた
- APriIGF (APAC地域のIGF) のセッションを出すというのも手

参考資料

- ワークショップの選考・評価プロセスについての詳細
<https://www.intgovforum.org/en/content/igf-2023-workshop-submission-and-review-process>
- ワークショップ提案の提出フォーム
<https://intgovforum.org/en/content/igf-2023-workshop-proposal-form#no-back>
- 登壇者候補者リスト(声かけてくれてもいいよという人が登録している)
<https://www.intgovforum.org/en/content/resource-persons>

- Internet Society Japan Chapter
- Established in August 1994 (one of the first chapters when ISOC introduced chapter system)
- Number of Members : around 459 (at Dec.2022)
- Activities
 - Organize Events
 - IETF Update Meeting (= “Readout”)
 - Translate IETF Tutorial Materials and other ISOC related contents Language.
 - ISOC-JP workshop
 - Collaborate with other communities and conferences.
 - 今年はIGF関連のイベントも各所と連携してやっていきます！



Certificate of Charter in 1994

" The Internet is for everyone. "

ISOC-JP

Please join us!

- Internet Society
 - <https://www.internetsociety.org/>
- ISOC Japan Chapter
 - <https://www.isoc.jp/>
- ISOC member registration page
 - <https://www.internetsociety.org/become-a-member/>

